


分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
5年後の目標	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	放課後児童クラブ育成事業		会計	款	項	目	243,056,357	文化・スポーツ振興課
			一般	10	4	4		
事業の概要								
放課後の児童を対象に小学校敷地内で家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、開所時間の延長などのサービス内容の充実を図り、保護者の仕事と子育ての両立を支援します。放課後児童クラブへの入会数は増加傾向にあるため、児童一人あたりの専用区画を確保できるよう計画的な施設整備を進めるとともにすくすく教室推進事業との連携を図ります。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	児童一人あたりの専用区画1.65㎡を充たす放課後児童クラブ数				単位	クラブ
	現 状 (計画策定時)	年 度	28	29	30	31	32
	0(平成26年度)	目 標	0	2	2	3	3
		実 績	0				
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡第五小・長岡第六小・長岡第十小放課後児童クラブの施設整備に向けて、保護者、指導員、関係機関と調整を行いました。長岡第五小については、平成29年7月に竣工を目指し、工事に着手しました。 ・長岡第十小放課後児童クラブの平成29年度からの民間委託に向けて取り組みました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応員
		—		—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	長岡第五小・長岡第六小・長岡第十小放課後児童クラブの施設整備に向けて、保護者、指導員、関係機関と調整しながら取り組みました。長岡第五小については、平成29年7月の完成を目指し、工事に着手しました。	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・開設時間の延長や新たな行事、取り組みなど多様化する保護者のニーズに応えるため、さらなる民間委託を進める必要があります。 ・民間委託を進めることで指導員の人数に余裕を持たせ、保育の質の向上を図る必要があります。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	長岡第五小に続き、平成29年11月に長岡第六小、平成30年2月に長岡第十小の施設を整備し、新施設への移転を行う予定です。また、平成30年度以降に長岡第三小、長岡第四小、長岡第九小の施設整備を目指します。

分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
5年後の目標	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	すくすく教室推進事業		会計	款	項	目	17,526,154	文化・スポーツ振興課
			一般	10	4	6		
事業の概要								
学校や地域、家庭が一体となって、子どもの安全・安心な居場所を確保し、特別教室や体育館等の学校施設において、地域の活力を利用して、放課後や週末などの子どもの活動拠点を創出し、学習やスポーツ、文化活動などの取り組みを推進します。また、放課後児童クラブ育成事業との連携を図ります。								


平成28年度の取組								
D (取組)	指標	すくすく教室参加児童数					単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	39,452(平成26年度)	目標	39,700	40,100	40,400	40,700	41,000	
		実績	34,445					
	指標	すくすく教室指導員等人数					単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	6,776(平成26年度)	目標	6,780	6,785	6,790	6,795	6,800	
		実績	6,270					
	長七小のすくすく教室に放課後児童クラブの指導員が参加したり、長十小では放課後児童クラブの指導員がすくすく教室の全体会議に参加したり、すくすく教室の学習指導員が夏休み期間の放課後児童クラブに出向いて指導をしたりする例が見られ、両事業のさらなる連携を目指します。							
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標 放課後子ども教室に参加する児童数と活動に協力する大人の数	評価指標の傾向・トレンド 放課後児童クラブとの一体的な取組を目指します。	対応頁 195
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況 ・安定した事業を実施しているところであり、「京のまなび教室」特別講師の活用や「環境の都づくり会議」の協力を得るなど、講座の充実を図っています。	
	課題等	・放課後児童クラブの運営を民間委託している長七・長十小でのすくすく教室との一体的な取組を推進できるよう、さらなる働きかけが必要になります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1: 計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・すくすく教室を開始してから10年が経過し、校区によっては、コーディネーター等が交代する必要に迫られている場合もあり、後継者の人材発掘や円滑に引継ぎができるよう、校区運営委員会の活動を支援します。 ・補助金が削減された場合、財源をどのように確保するのか検討します。 </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく教室を開始してから10年が経過し、校区によっては、コーディネーター等が交代する必要に迫られている場合もあり、後継者の人材発掘や円滑に引継ぎができるよう、校区運営委員会の活動を支援します。 ・補助金が削減された場合、財源をどのように確保するのか検討します。
方向性	対応策等				
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく教室を開始してから10年が経過し、校区によっては、コーディネーター等が交代する必要に迫られている場合もあり、後継者の人材発掘や円滑に引継ぎができるよう、校区運営委員会の活動を支援します。 ・補助金が削減された場合、財源をどのように確保するのか検討します。 				

分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
5年後の目標	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	地域で支える中学校教育支援事業	会計	款	項	目	4,647,110	生涯学習課
		一般	10	4	1		
事業の概要							
子どもが自主性や社会性、協調性などを培うため、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進します。各中学校に地域コーディネーターを配置し、地域住民がボランティアとして、中学校が必要とする支援活動(学習支援、部活動支援、環境整備、登校指導など)を行うとともに、研修交流などを通して地域ボランティアの資質向上等に努めます。							


平成28年度の実績							
D (取組)	指標	地域で支える中学校教育支援事業年間活動延べ日数(4校合計)				単位	日
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	650(平成26年度)	目標	680	710	740	770	800
		実績	1,358				
<ul style="list-style-type: none"> 各中学校に地域コーディネーターを設置し、地域住民等が学習支援ボランティアとして活動しました。 ボランティアの質の確保のため、「学校支援ボランティアの手引き」を作成し、中学生への接し方や活動の留意点などをあらかじめ理解してもらうようにしました。 長岡中学校では、英語・数学検定受験のためのチャレンジ教室、部活動支援、図書ボランティア活動を行いました。 長岡第二中学校では、英語・数学検定受験のためのチャレンジ教室、夏休み補充学習、別室登校生徒への学習支援、授業補助、部活動支援、環境整備などを行いました。 長岡第三中学校では、補充学習支援、美術実技補充、授業補助を行いました。 長岡第四中学校では、7校時学習会、テスト前補充学習会、授業補助、部活動支援を行いました。 					数学チャレンジ教室の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	京都府学力診断テストで正答率が50%未満の割合	長岡京市の平均が京都府の平均を下回っています。	194
	課題等	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の必要とするボランティアの数が集まったため、積極的な活動が行うことができました。 事業実施から約9年が経過し各中学校内での活動が定着してきているため、中学校、地域コーディネーター、地域ボランティアとの連携が円滑に進んでいます。 	
		・事業開始当初からの地域ボランティアが高齢化等により、活動を休止される場合が増えてきたため、新たなボランティアの確保が必要です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
方向性 1: 計画通りに進めることが適当	・これまでボランティアは欠員時に随時募集していましたが、通年で募集し、ボランティア希望者がすぐ中学校での活動に結びつかない場合でも、ボランティア希望者として生涯学習課で登録するよう変更します。

分野	14	地域子育て支援
施策	141	子どもの居場所・交流の充実
5年後の目標	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	児童館子どもの居場所づくり事業		会計	款	項	目	5,185,396	北開田児童館
			一般	3	2	5		
事業の概要								
<p>児童館が来館する子どもや保護者にとって快適な居場所となるよう、トイレの洋式化をはじめ遊戯室、図書室の改装、授乳室の設置、キッズルームの充実など、子どもの居場所となる児童館施設の充実を図ります。</p> <p>また、家庭での教育力、子育て力の向上を図るため、これまで配置していた児童教育相談員に加え新たに子育て相談員を配置することで、子どもや保護者に向けた教育相談や学習相談、子育て相談など子育てに関する支援を充実させます。</p>								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	児童館の来館者数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	10,987(平成26年度)	目標	12,000	12,000	13,000	13,000	13,000
		実績	16,778				
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したトイレの洋式化工事を行い、おむつ替えシートやベビチェアを配置しました。 ・遊戯室、図書室のカーペットの貼り替えを行いました。遊戯室については、安全のため、カーペットの下に柔らかいアンダーシートを敷きました。 ・児童館を広く周知することと乳幼児親子の交流を図るため、子育てサロンを実施しました。 ・図書室に畳スペースを設け、ゆったりとくつろいだりグループで遊べるようにしました。 ・キッズルームにキッズスペースやすべり台を設置し、遊び場としての充実を図りました。 						子育てサロン	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成28年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標			評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—			—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが明るくきれいになったので、子どもたちが気持ちよくトイレを使用できるようになりました。 ・小学生が図書室で過ごす時間が増え、図書の貸し出し冊数も増加しています。 ・乳幼児の親子連れの約6割が六小校区以外からの来館となり、キッズルームで一緒に遊ぶことで、親同士のつながりも生まれてきています。 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・親子連れの来館は増加していますが、まだまだ児童館の認知度は低く、今後も乳幼児の居場所としての広報活動が必要です。 ・親子連れでの来館者同士の交流は限定的であり、それぞれ別々に遊ぶことが多いので、交流を促す取組が必要です。 					

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の認知度を高め、来館した親子の交流を促進するため、定期的な子育てサロンを開催します。